

学生研究奨励賞 受賞記

文教大学大学院 福井佑希

この度は、学生研究奨励賞という形で研究発表をご評価していただき、大変光栄に思います。情報システム学会ご関係者および大会参加者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本研究は「インタラクティブデバイスの機能類似度に基づくリンク予測を用いたアプリケーション開発支援手法の検討」といタイトルで発表させていただいたものです。新規デバイスやソフトウェアを使用した場合 API エラーの解決や開発支援をテーマに分析したものとなります。その中でもインターネット分析によるクラスタリング係数の計測や可視化という部分に着目し、実際に起きる可能性がある事象に対して検証を行ってきました。また、そのような検証を行うにあたり、クラスタリング係数による類似度の違いや、密度の違いによる数値の調整や、可視化部分における調整を試行錯誤してきました。

現場に合わせたデバイスの追加や可視化を中心に調査を行ってきましたが、ほかのデバイスや機能の追加によってより多くの調査が可能になるということも確認しております。そのようなことから類似度におけるクラスタリング係数の違いやより細かいデバイスの調査を行っていきたいと思います。

今後は、本発表でいただいたアドバイスをもとに分析方法の改善やデバイスごとのカテゴリーなどを改めながら調査を考えております。また、可視化結果から、将来つながるであろうデバイスを発展させられないかと研究し、API エラーを未然に防ぐなど多くの問題解決に取り組もうと思います。

発表後は参加者の皆様より本研究の進展となる様々な視点からのご質問・コメントをいただきました。これからも一層研究に専念していきます。今回は誠にありがとうございました。